

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	名古屋大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ナゴヤダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	キャリアデザイン実習
	学部・研究科等名	教育学部
	担当教職員名・役職	金井 篤子・教授横山 悦生・教授柴田 好章・教授
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	42
	受入企業等数	42
	受入企業等名	株式会社JTB中部、株式会社中日新聞社、名鉄観光サービス株式会社 他
インターンシップの分類	6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	新規受入先は、学生のニーズを把握して、当学部インターンシップ・コーディネーターが個別企業と交渉して毎年開拓を行っている。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	3年生を対象に、インターンシップの事前指導として「キャリアデザイン演習」(選択科目)を15回実施している。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	インターンシップ中に教職員(インターンシップ・コーディネーター)が主な受入先に赴き、先方指導者及び学生と面談を実施している。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	全15回の事前学習「キャリアデザイン演習」の中で、インターンシップの趣旨や目的の理解(第1回、第14回)、ビジネスマナー研修(第2回)、インターンシップ中のリスクマネジメント(第14回)等を実施している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	夏季インターンシップを実施した学生は、①後期科目「キャリアデザイン実習」を受講し、②インターンシップ報告書、企業研究、アンケート等関係書類を提出し、③後日行われる「インターンシップ成果発表会」にて報告を行う。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ中に教職員(インターンシップ・コーディネーター)が主な受入先に赴き、先方指導者及び学生と面談を実施している。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ終了後、学生から大学へインターンシップ報告書、企業研究、アンケート等関係書類を提出させ、更に報告書については担当教員が点検する中で学生自身が何を身に着けたか、どう変わったかを把握し、学生の今後の成長のための課題を認識し、大学での学修の深化や将来のキャリア形成を促していくようにアドバイスをしている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している,3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	

㉔	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	特別事例として学生の希望した受入先が5日間未満のインターンシップであった場合、複数企業のインターンシップを実施することによって計5日間以上の実施期間を確保するようにしている。
要素 ㉕	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生にはインターンシップ前に受入先の企業研究を行い受入先の理解を深めさせるとともにインターンシップの目標を立てさせ、インターンシップ初日には受入先へその企業研究を点検してもらうよう依頼させている。更に終了後は学生に対する評価シートを受入先から大学へ送付いただき、学生への指導や評価に利用している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www.educa.nagoya-u.ac.jp/docs/syllabus/h29_syllabus/syllabus/E10604.html#E10604
問い合わせ先	大学等名	名古屋大学
	担当部署名	教育学部
	担当者役職名	インターンシップ・コーディネーター
	担当者氏名	大西 隆信
	電話番号	052-789-5944
	メールアドレス	int2012@educa.nagoya-u.ac.jp